

財政規則審査会議事業計画

財政規則審査会議 議長 蛭名 雄太郎

我々は会員数の減少に影響されずに、限られたリソースを最大限に活かして高い費用対効果を生みだす青年団体として、財政規則面での知見向上と誠実かつ透明性のある厳格な組織運営の維持が求められています。我々は費用対効果を意識した事業構築とそれを確実に実現する遂行能力の向上が必須であり、未来につながる組織価値の向上と、会費収入のみに依存することのない地域共感に基づく多様で安定的な財源を確立する必要があります。

まずは、公益法人としての責任と社会的信頼をもち合わせた成長する組織となるために、財政面、規則面、公益性の観点から厳格さに加えて運動の効果の最大化を促す審査会議を行うことで、限られたリソースで費用対効果を意識した予算運用と地域に与える影響力が最大化されます。そして、失敗を恐れずに新しい価値を創造し続ける地域変革組織となるために、財政サポートデスクの設置と財務ナレッジベースを整備して各会議体委員会間の連携を強化することで、誠実かつ透明性のある厳格で健全な財務規則運営が実現されます。さらに、不連続かつ急速な変化が起きる時代でも運動の効果を最大限に發揮できる組織となるために、法人格の違いによる長短や新公益法人制度について正しく理解したうえで我々に適した法人格について議論することで、我々の今後の組織のあり方に関する意思決定の基盤がより強固になります。また、より良い変化をもたらす地域共感型の事業を構築可能するために、市内外から広くご支援をいただける新たなパートナーの開拓と寄付金の仕組みを構築することで、安定した財政基盤の確立と地域からの信頼度が高まります。

財務と規律が融合した強固な基盤上で学びと挑戦をし続ける我々は、組織価値の発展向上と変革を牽引する人材へと成長し、費用対効果が最大化された運動で我々の住み暮らす地域からの信頼や共感の伝播を創出する、未来を見据えた持続可能な青年組織となります。

<事業計画>

1. 信頼と成長を支える厳格な審査会議の実施
2. 健全な財務規則運営を支えるサポート体制の構築
3. 法人格に関する現状把握と議論の実施
4. 地域との連携を深める財源の確立